

研究生の皆様へ

三田絵画研究所
主宰 三田 洸

研究所関連で感染が判明した場合の対応について

ご承知のとおり、冬に入ってから全国・県内も感染が拡大しています。所内でも継続して感染対策は行っており、また研究生の皆様におかれましても日頃から十分に対策はされていることと思います。

しかし、感染経路が不明な症例も多く、いつどこで感染するかわかりません。誰もが感染する可能性がある状況といえます。以下に、感染が判明した場合の対応について皆様にお知らせ致します。

① 指導者が感染または濃厚接触者となった場合

研究生全員にその旨 LINE・MAIL・TEL 等でお知らせ致します。感染した場合は、治療後に完治(PCR 検査で陰性)と診断されてから 2 週間経過するまで休所致します。濃厚接触者となった場合は、PCR 検査の結果がわかるまで休所致します。

② 研究生が感染または濃厚接触者となった場合

研究所にその旨すみやかにご連絡下さい。感染した場合は、完治(PCR 検査で陰性)と診断されてから 2 週間経過するまで来所しないで下さい。(この場合、同じ時間帯に参加していた方に連絡いたしますのであらかじめご承知下さい。)濃厚接触者となった場合は、PCR 検査で陰性と診断されるまでは来所しないで下さい。これらに関連して指導者が濃厚接触者となり、保健所の指示で PCR 検査を行う必要がある場合、①と同じくその診断結果がわかるまで休所致します。

③ 研究生の家族が感染・あるいは濃厚接触者となった場合

研究所にその旨すみやかにご連絡下さい。また、感染した家族が完治(PCR 検査で陰性)し、かつ本人も PCR 検査で陰性と診断されてから 2 週間経過するまで来所しないで下さい。

※感染したことを伏せて研究所に来所することは、感染を拡大させることとなりますので絶対にしないで下さい。また、感染した当人に対し誹謗・中傷を行うことは認めません。感染したことを伏せて来所、誹謗・中傷などを行った方は退所していただきます。